

平成30(2018)年度 宮城県

# 生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員) 養成研修



主催：宮城県

運営：全国コミュニティライフサポートセンター

# 宮城県生活支援コーディネーター養成研修の目指すもの

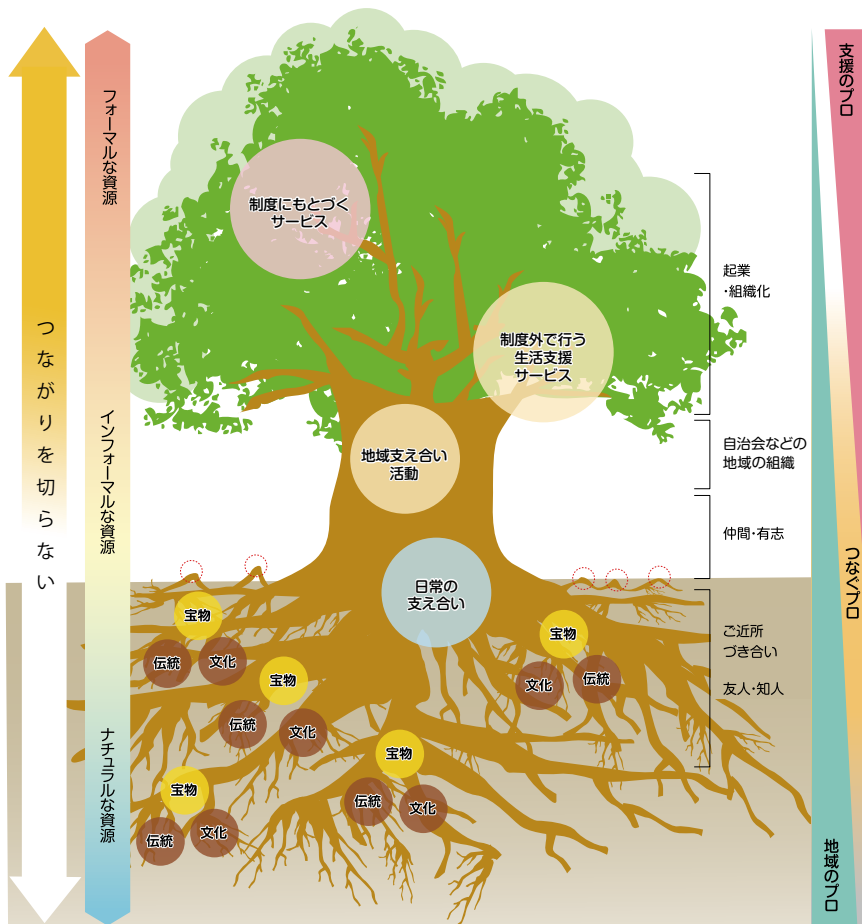
○医療・介護のサービスが充実しただけでは、365日地域で暮らし続けることは容易ではありません。介護が必要になる前から地域で気かけ合い・見守り合い・支え合うことが重要です。

○そこで 2015 年に介護保険制度が改正され、新しい総合事業と生活支援体制整備事業のもと、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」と「協議体」という仕組みが誕生しました。

○介護保険サービスとご近所とのつながり（「地域づくりの木（下図）」における「日常の支え合い」や「地域支え合い活動」。これを宮城県では「地域のお宝」と呼ぶ）の両方をうまく組み合わせ、上手に地域で暮らす「地域づくり」を目指します。

○宮城県では、生活支援コーディネーターの任にあたる方に加え、生活支援コーディネーターと協働する住民や専門職、生活支援コーディネーター業務を受託する法人の管理者並びに専門職、生活支援サービスの体制整備（生活支援コーディネーターと協議体）を担当する行政職員などが一緒に受講して、チームで暮らしやすい体制づくりを目指す研修として開催しています。

「地域づくりの木」



どなたでも  
受講できます

受講料無料

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）、協議体メンバー、地域の住民、自治会・町内会・行政区・まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、老人クラブなどの地縁組織、行政、地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、ボランティア・NPO団体などの関係者



# 平成30(2018)年度 宮城県生活支援コーディネーター養成研修 体系図

## <基本研修>

受講必須

詳細はP4~7へ

## <実践講座>

受講選択

研修1受講修了者対象

詳細はP6~10へ

地域での支え合いの理解

【研修1】 半日 →P4

初級研修

・地域福祉業務未経験者  
・各種国家資格未取得者

受講選択

【研修1-2】 2日間 →P5

「地域福祉コーディネート基礎・実践研修」受講のための事前研修

受講必須

【研修2】 2日間 →P5

地域福祉コーディネート基礎・実践研修

受講選択

【研修2-2】 2日間 →P6

地域福祉コーディネート  
中堅研修

受講必須

【研修3】 2日間 →P7

生活支援コーディネート基礎・実践研修

コミュニティワークの理解

協議体と生活支援  
コーディネーターの理解

【講座1-1】 1日 →P6

地域支え合いの発見の仕方  
～かかれた資源を見つけ出せ～

【講座1-2】 1日 →P6~7

地域支え合いの伝え方  
～見つけた資源を伝えよう～

【講座1-3】 1日 →P7

地域支え合いの共有の仕方  
～見つけた資源を知らせよう！  
お宝発表会の持ち方～

受講選択

研修3受講修了者対象

【講座2】 1日 →P8

生活支援コーディネーターによる実践交流  
& 事例検討会  
〔生活支援コーディネーター限定講座〕

【講座3】 1日 →P8

協議体運営の方法

【講座4】 1日 →P8

有償サービスの立ち上げと運営の方法

【講座5-1】 1日 →P9

地域支え合い活動実践研修1～先進地に学ぶ～  
① 多賀城市編  
② 岡山県倉敷市編  
③ 高知県佐川町編

【講座5-2】 1日×全4回 →P10

地域支え合い活動実践研修2  
～お宝の発見から発表会の開催の方法を学ぶ～

## <受講対象者限定>

詳細はP11へ

【対象者限定1】 半日 →P11

生活支援体制整備事業に関わる自治体職員研修

【対象者限定2】 1日 →P11

市町村担当者・受託団体外長研修

【対象者限定3】 1日 →P11

地域包括支援センター職員と介護支援専門員研修

# 生活支援コーディネーター養成研修 受講ガイド

## 受講要件

- 1 基本研修を受講する方は、【研修1】【研修2】【研修3】を順に受講してください。
- 2 地域福祉業務の未経験者や各種国家資格の未取得者が【研修2】を受講する際は、その前に必ず【研修1-2】を受講してください。
- 3 【研修1】の修了者は【講座1-1、1-2、1-3】を受講できます。
- 4 【研修3】の修了者は【講座2、3、4、5-1、5-2】を受講できます。
- 5 申し込みは先着順で、定員を満たし次第締め切らせていただきます。  
(生活支援コーディネーターの任にあたる方で受講を急ぐ方は、別途ご相談ください)

## おもな講師

大坂 純氏  
東北子ども福祉専門学院 副学院長

高橋 誠一氏  
東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授

志水 田鶴子氏  
仙台白百合女子大学 人間学部 准教授

池田 昌弘氏  
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長

## <基本研修>

### 1 町内会をモデルに実践開始！

高砂地区の民生・児童委員の研修で、全国各地で行われている孤立や孤独を防ぐ実践事例を伺いました。民生・児童委員の活動の意義や振り返りをしたいと考え、ほかの民生・児童委員とともに生活支援コーディネーター養成研修を受講しました。

この研修で学んだことを生かそうと、1町内会をモデルとして啓発しながら、町内の役員と一緒に地域づくりに向けた取り組みを少しずつ始めています。

受講者の  
声



三浦 忍さん  
(仙台市宮城野区・高砂第二地区民生委員児童委員協議会 会長)

受講  
必須

いまこそ支え合い！

【研修1】

初級研修

半日研修



住民のみなさんの  
受講モデル

住民と  
同じ研修を  
受講できます

専門職の  
みなさんの  
受講モデル

受講モデルは一例です。体系図や受講要件をご参照のうえ、ご希望の研修を受講してください。

ねらい

- 地域の支え合いとは？
- 生活支援コーディネーターと協議体とは？
- 誰もが暮らしやすい地域づくりをするには

- 気仙沼会場 6月28日(木) 宮城県気仙沼保健福祉事務所  
石巻会場 7月 6日(金) 石巻商工会議所  
栗原会場 7月18日(水) 宮城県栗原合同庁舎  
仙台会場① 7月19日(木) 仙台市福祉プラザ  
蔵王会場 10月 4日(木) 蔵王町ふるさと文化会館  
仙台会場② 10月 5日(金) 仙台市福祉プラザ

講師 高橋 誠一氏 池田 昌弘氏

研修時間・定員 (全会場ともに) 13:00~16:30 定員80人  
※ただし、仙台会場は200人

### 社協ぐるみで受講！

高橋 吏佳さん  
(南三陸町社会福祉協議会地域福祉係長/被災者生活支援センター事業課長)

南三陸町では、東日本大震災から復興10年を見据えた人材づくりのため、LSA(生活援助員)の仕事の経験を活かせる職種として生活支援コーディネーターが考えられました。昨年度は県の養成研修を受講し、11人が修了。第1層・第2層生活支援コーディネーターとして活躍している人もいます。

受講者の  
声

受講  
選択

# 地域生活支援を知ろう

【研修1-2】

「地域福祉コーディネーター基礎・実践研修」  
受講のための事前研修

2日間研修



ねらい

- 地域生活支援とは？
- 地域のつながりと制度・サービスのバランスを学ぶ
- 地域で暮らし続けるためには

仙台会場① 7月30日(月)～7月31日(火)

仙都会館

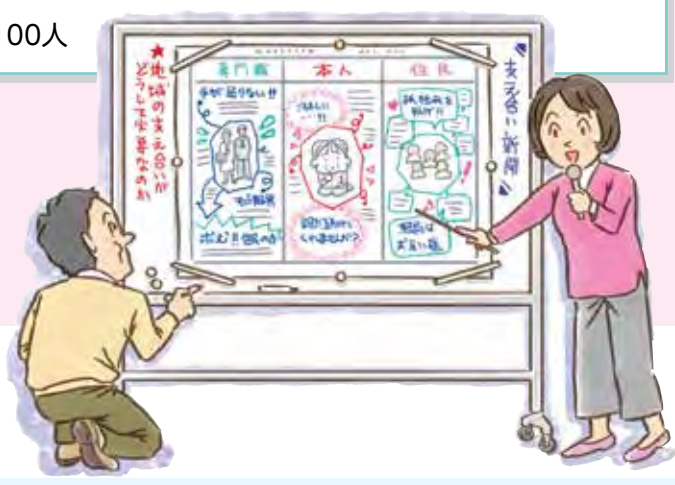
仙台会場② 10月22日(月)～10月23日(火)

仙都会館

- 講師 永坂 美晴 氏 兵庫県明石市社会福祉協議会 地域総合支援センター 地域支え合い推進担当係長
- 岩城 和志 氏 兵庫県淡路市社会福祉協議会 事務局次長 (仙台会場①)
- 山本 信也 氏 兵庫県宝塚市社会福祉協議会 地域福祉部 地区担当支援課 課長 (仙台会場②)

研修時間・定員

(両日)9:30～16:30 定員100人



専門職と  
同じ研修を  
受講できます

研修3へ

ねらい

- 地域や地域福祉を知ろう
- 生活支援コーディネーターの活動の基礎を学ぶ
- 住民主体の地域づくりがわかる

仙台会場① 9月20日(木)～9月21日(金)

宮城県自治会館

仙台会場② 1月17日(木)～1月18日(金)

宮城県本町第三分庁舎

講師 藤井 博志 氏 関西学院大学 人間福祉学部 教授

研修時間・定員 (両日)9:30～16:30 定員100人

受講  
必須

# 地域福祉を学ぼう

【研修2】

地域福祉コーディネーター基礎・実践研修

2日間研修

受講者の  
声

女性 20歳代 公益社団法人  
用いられたビデオで、住民主体で行われる会議が非常に多く紹介され、真の意味で「住民主体」の働きに驚いた。

地域にある支え合い「地域のお宝」を発見し、それを関係者に伝え、住む人に広く知らせて共有していくことは、誰もが暮らしやすい地域づくりをするためにたいせつなことです。実践講座1-1、1-2、1-3では、その具体的な方法について、実践的に学びます。地域の皆さまにも、生活支援コーディネーターとともに、ぜひ受講いただきたい講座です。

## 地域のお宝を見つけよう

### 【講座1-1】

#### 地域支え合いの発見の仕方

〜かかれた資源を見つけ出せ〜



1日研修

### ねらい

- 「地域のお宝」とは？
- 地域のつながりのたどり方
- 「地域のお宝」の見つけ方

#### 仙台会場

8月20日(月)

エスポールみやぎ

#### 講師

大坂 純氏

池田 昌弘氏

木村 利浩氏

全国コミュニティライフサポートセンター 開発主査

#### 研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人

## 地域のお宝を伝えよう

### 【講座1-2】

#### 地域支え合いの伝え方

〜見つけた資源を伝えよう〜

1日研修

NEW!

※講座1-1、1-2、1-3は、実践講座となります。

### 受講 選択

## 地域福祉の展開

### 【研修2-2】

#### 地域福祉コーディネート中堅研修

2日間研修

### ねらい

- 事例をとおして地域福祉の理解を深める
- 協議の場のつくり方と進め方を学ぶ
- 住民・専門職が協働する体制づくりがわかる

#### 仙台会場

1月21日(月)~1月22日(火)

宮城県自治会館

#### 講師

藤井 博志氏 関西学院大学 人間福祉学部 教授

浜上 章氏

宮城県サポートセンター支援事務所 アドバイザー  
兵庫県川西市社会福祉協議会 桜小地区福祉委員会 委員長

浅野 恵美氏

美里町社会福祉協議会 地域福祉課 課長

眞籠 孝史氏

東松島市社会福祉協議会 地域福祉推進係  
地域福祉専門員 (生活支援コーディネーター)

#### 研修時間・定員

(両日)9:30~16:30 定員60人



## ねらい

- 発表会を通じて「地域のお宝」を共有しよう
- 「お宝発表会」に参加してみよう
- 自分の地域で発表会を開催するには

仙台会場 12月11日(火)  
せんだいメディアテーク  
大崎会場 1月25日(金)  
パレットおおさき  
白石会場 1月29日(火)  
ホワイトキューブ

### 講師

酒井 保氏  
ご近所福祉クリエイション主宰 ご近所福祉クリエイター  
大坂 純氏 (仙台会場)  
高橋 誠一氏 (大崎会場)  
志水 田鶴子氏 (白石会場)

### 研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人

NEW!

## 【講座1-3】

### 地域支え合いの共有の仕方

「見つけた資源を知らせよう! お宝発表会の持ち方」

1日研修

地域のお宝をみんなのものにお宝でつながろう

## ねらい

- 「地域のお宝」の価値と魅力を伝えるには?
- もっと伝わる! 写真、映像の生かし方
- 伝え方、広め方で「地域のお宝」が輝く

仙台会場  
10月2日(火)  
宮城県自治会館

### 講師

池田 昌弘氏  
橋本 泰典氏  
全国コミュニティライフサポートセンター 開発主査推進役  
木村 利浩氏  
全国コミュニティライフサポートセンター 開発主査  
田村 洋介氏  
全国コミュニティライフサポートセンター 開発主査

### 研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人

## ねらい

- 地域で生活支援体制整備事業を展開するには
- 「あるもの探し」からはじめる地域づくりを学ぶ
- 生活支援コーディネーターと協議体の機能・役割がわかる

仙台会場① 11月1日(木) ~11月2日(金)  
エスポールみやぎ

仙台会場② 3月11日(月)~ 3月12日(火)  
宮城県自治会館

講師 大坂 純氏 高橋 誠一氏  
志水 田鶴子氏 池田 昌弘氏

研修時間・定員 (両日)9:30~16:30 定員100人

講座2以降の  
受講が  
できます

## 受講者の声

女性 50歳代 地域NPO

研修を受ける前はすごく固いイメージと、何かを地域でやらなければいけないと思っていたが、住民として住民のまま一緒に考えていくということがあった。

### 修了証書

宮城県では、「研修3」までの受講をもって、生活支援コーディネーター養成研修の修了者として。研修3まで修了された方には、修了証書を発行します。

## 【研修3】

### 生活支援コーディネーター基礎を学ぼう

受講  
必須

生活支援コーディネーターの  
基礎を学ぼう

2日間研修

## <実践講座>

実践講座は、養成研修（基本研修）の修了段階に応じて、具体的な活動をより実践的に、あるいは体験的に学ぶものです。

講座1-1、1-2、1-3は、P6～7をご覧ください。

### ねらい

- 協議体とは何か？
- 地域が元気になる「協議の場」を学ぶ
- 協議体の作り方と進め方がわかる

### 仙台会場

11月29日(木)

エスポールみやぎ

### 講師

佐藤 寿一 氏

兵庫県宝塚市社会福祉協議会 常務理事

高橋 誠一 氏

池田 昌弘 氏

### 研修時間・定員

9:30～16:30 定員60人

### 【講座3】協議体運営の方法

## 地域の仲間で語り合おう

### ねらい

- 他市町村の生活支援体制整備事業の進捗状況を知る
- 日々の実践を持ちよって交流を深める
- 生活支援コーディネーターのネットワークづくり

### 仙台会場

10月18日(木)

エスポールみやぎ

### 講師

大坂 純 氏

高橋 誠一 氏

志水 田鶴子 氏

池田 昌弘 氏

### 研修時間・定員

9:30～16:30 定員60人

(生活支援コーディネーター限定講座)

### 【講座2】

生活支援コーディネーターによる  
実践交流&事例検討会

## つながろう！つながろう！

研修3受講修了者対象

### ねらい

- つながりを切らない有償サービスとは何か？
- 実践事例から学ぶ
- サービスをつくる際に配慮すべきことがわかる



### 仙台会場

12月20日(木)

宮城県自治会館

### 講師

吉田 瑞穂 氏

大分県中津市社会福祉協議会 地域福祉課 課長

高橋 誠一 氏

池田 昌弘 氏

### 研修時間・定員

9:30～16:30 定員60人

### 【講座4】

有償サービスの立ち上げと  
運営の方法

## 有償サービスを学ぼう

1日研修



# 先進地の取り組みから学ぼう

## 【講座5-1】

### 地域支え合い活動実践研修1

～先進地に学ぶ～

1日研修

生活支援体制整備事業の先進地の取り組みについて、多賀城市、岡山県倉敷市、高知県佐川町の住民および専門職から直接話を聞き、住民主体の地域づくり、関係各機関の支援や連携のあり方を、ともに考える講座です。講座で得たヒントを自分の地域の実際の業務に活用することを目指し、演習や質疑応答で学びを深めます。

## 受講者の声

女性 40歳代 地域包括支援センター生活支援コーディネーター

実際に活動されている住民の方と、その活動を支援する社協の方のお話を聞くことができ、活動のみならずその立ち位置がとても勉強になりました。

(2017年度兵庫県宝塚市編を受講)

### ①多賀城市編

ねらい ●住民と専門職が協働して、地域のお宝探しをする手法

多賀城会場 1月31日(木)

多賀城市文化センター

#### 講師

大坂 純氏 高橋 誠一氏

志水 田鶴子氏 池田 昌弘氏

多賀城市の実践者の登壇も

予定しています

#### 研修時間・定員

9:30～16:30 定員60人

#### 多賀城市

人口62,174人、高齢化率23.7% (2018年4月1日時点)

市内に3つある日常生活圏域を担当する地域包括支援センターに、第2層生活支援コーディネーターを配置。センターは、隣接する複数の行政区を束ねた「地域ネットワーク会議」を組織しており、区長や民生委員などが参加して地域の課題を話し合う場であったことから、第2層協議体との連携も図っています。2016年度は生活支援コーディネーターと市で地域のお宝探しの住民講座および発表会を開催しましたが、2017年度は住民や関係各課、まちづくりNPOを交えた20人弱の実行委員会形式で住民講座・発表会を企画・運営。大きな推進力となっています。



### ②岡山県倉敷市編

ねらい ●冊子づくりや発表会をととした地域のお宝の伝え方、広め方

仙台会場 1月16日(水)

エスポールみやぎ

#### 講師

折腹 実己子氏

仙台市地域包括支援センター連絡協議会 会長

大坂 純氏

倉敷市の実践者の登壇も

予定しています

#### 研修時間・定員

9:30～16:30 定員60人

#### 岡山県倉敷市

人口482,790人、高齢化率26.6% (2018年4月1日時点)

生活支援コーディネーターは、市社会福祉協議会に委託して3人の専任職員を配置、「つなぐ専門職」と定義づけて地域で活動しています。通いの場の調査事業、情報発信事業、地域支え合い活動普及啓発事業に取り組み、「『通いの場』ガイドブック」「『通いの場』通信」の発行、「サロン交流会」「支え合いのまちづくりフォーラム」を開催。地域住民との丁寧な人間関係づくりから信頼関係が強くなり、「こんなことをやりたい」という地域の作戦会議にも声がかかるようになり、地域づくりがますます広がりを見せています。



### ③高知県佐川町編

ねらい ●すでにあるものを生かす協議体のあり方

仙台会場 2月13日(水)

エスポールみやぎ

#### 講師

高橋 誠一氏 池田 昌弘氏

佐川町の実践者の登壇も

予定しています

#### 研修時間・定員

9:30～16:30 定員60人

#### 高知県佐川町

人口12,711人、高齢化率39.5% (2018年4月1日時点)

2018年度スタートする第3次町地域福祉アクションプランの策定に向けて、2017年度に町と町社会福祉協議会は住民とグループワークを実施。生活支援体制整備事業は2018年4月開始ですが、町内全5地区の住民代表ら約60人が参加した「合同会」は第1層の、また地区ごとに2回開催された「未来を語る座談会」は第2層の協議体と見ることができます。さらに、誰が来てもいい交流の場として高知県の市町村が従前から整備してきた「あったかふれあいセンター」と、住民の生きがいや役割を生み出す「集落活動センター」を基盤とした地域づくりが始まっています。



# お宝探しを自分のまちでもやってみよう

【講座5-2】

地域支え合い活動実践研修2

～お宝の発見から発表会の開催の方法を学ぶ～

1日×全4回連続講座

## ねらい イチから学ぶ地域づくりの展開方法

- 第1回 お宝探しの方法と住民研修開催の手順など講義・演習
- 第2回 第1回住民研修(お宝探しのワークショップ等)への参加と講義・演習
- 第3回 第2回住民研修(発見したお宝の見える化等)への参加と講義・演習
- 第4回 お宝の発表会の準備・開催と講座のまとめ

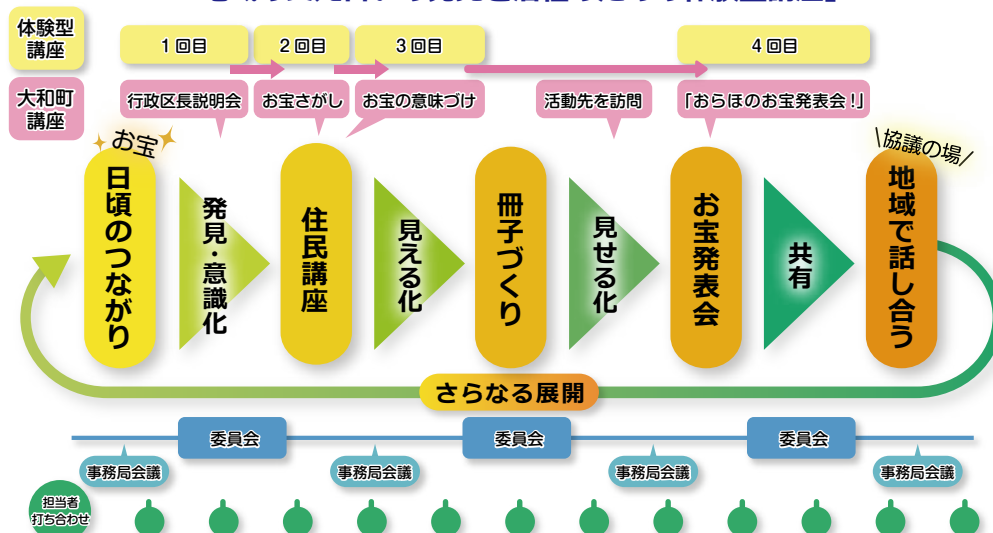
### 塩竈会場

講師 酒井 保 氏 ご近所福祉クリエイション主宰 ご近所福祉クリエイター  
志水 田鶴子 氏 池田 昌弘 氏  
ほかに実践者の登壇も予定しています

研修時間・定員 (毎回)9:30～16:30 定員30人



### 昨年度、同講座を開いた大和町の実践プロセス 「地域の支え合いの発見と活性のための体験型講座」



過去に開催した大和町および山元町での実践プロセスをYouTubeで見ることができます



宮城県大和町発！  
「宝物さがしから発表会までの運営手法」を学ぶ！  
[大和町 CLC]で検索



宮城県山元町発！  
「宝物探しからはじめる地域づくり実践ガイド」  
[山元町 CLC]で検索

### 受講者の声

女性 60歳代 社会福祉協議会

「お宝発表会」を通じて、地域の住民が生き生きと生活していることを教えてもらいました。また、地域の住民同士の支え合いが地域の活性化になっていることがわかりました。地域の住民だからこそできる支え合いがあるということに気づきました。

### 受講者の声



高橋 章浩さん  
(鳴子まちづくり協議会・地域支援コーディネーター)

### 専門的な知識を得て、地域のお宝探しへ

以前も生活支援体制整備事業について学ぶ機会がありましたが、わからないことが多く、モヤモヤとしていました。そんな折、大崎市の地域包括ケア推進室から案内があり、2016年度から受講を始めました。

私たちは住民による地域団体であり、制度やサービスに関する専門的な知識がありません。だからこそわからないことや不安も多かったのですが、分野ごとに具体的な内容の講座の受講を重ね、骨格がわかってきました。

地域住民に支え合いの重要性を伝え、理解をしてもらうことは簡単なことではありませんが、地域のお宝を探しながら、住民の支え合いを基本にしたまちづくりをすすめていきたいと考えています。

## <受講対象者限定>

この事業は、生活支援コーディネーターだけではなく、市町村の担当者や受託団体の上長の理解とともに、ケアマネジメント等にも生かされてこそ発展します。そこで、市町村担当者、地域包括支援センター職員、介護支援専門員向けの研修を増設します。

### 受講要件

生活支援体制整備の市町村担当者・受託団体上長は、【市町村担当者・受託団体上長研修】を受講できます。地域包括支援センター職員・介護支援専門員は、【地域包括支援センター職員と介護支援専門員研修】を受講できます。



### 【対象者限定1】生活支援体制整備事業に関わる自治体職員研修

生活支援体制整備事業の理解と今後の展開方法

半日研修

宮城県の生活支援体制整備

事業の進め方や、地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局の体制について理解し、各自自治体の役割や支援体制と、今後どのように事業を展開していくかを考えます。

#### 仙台会場

6月8日(金)

TKPガーデンシティ  
PREMIUM  
仙台西口

#### 講師

大坂 純氏  
高橋 誠一氏

#### 研修時間・定員

13:00~16:30  
定員60人

### NEW!

### 【対象者限定3】地域包括支援センター職員と介護支援専門員研修

生活支援体制整備事業を生かしたケアマネジメント

1日研修

生活支援体制整備事業に関する理解

を深め、ケアマネジメントの実践に生かすための知識を習得する。また、ケアマネジャーなどの地域包括支援センター職員と生活支援コーディネーターが行う支援や地域ケア会議と協議体を生かしたケアマネジメントを学びます。

#### 仙台会場

2月19日(火)

宮城県自治会館

#### 講師

大坂 純氏  
高橋 誠一氏  
志水 田鶴子氏  
池田 昌弘氏

#### 研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人

### 【対象者限定2】市町村担当者・受託団体上長研修

生活支援コーディネーターの上長の役割と実際

1日研修

生活支援体制整備事業を推進するにあたって、委託元の自治体担当者や受託団体に配置された生活支援コーディネーターの上長が理解すべきこと、行うべきマネジメントについて学ぶ講座です。大分県中津市社会福祉協議会および福島県福島市の地域包括支援センターの管理職から実際の運営の話を聞きながら、上長として、自分や自分の職場の強みを生かしたマネジメントを行うっていく方法を探ります。

生活支援体制整備事業を推進するにあたって、委託元の自治体担当者や受託団体に配置された生活支援コーディネーターの上長が理解すべきこと、行うべきマネジメントについて学ぶ講座です。大分県中津市社会福祉協議会および福島県福島市の地域包括支援センターの管理職から実際の運営の話を聞きながら、上長として、自分や自分の職場の強みを生かしたマネジメントを行うっていく方法を探ります。

#### 仙台会場 8月2日(木)

仙都会館

#### 講師

吉田 瑞穂氏  
大分県中津市社会福祉協議会 地域福祉課 課長  
齋藤 理恵氏  
福島県福島市飯坂南地域包括支援センター 所長  
大坂 純氏 高橋 誠一氏  
志水 田鶴子氏 池田 昌弘氏

#### 研修時間・定員

9:30~16:30 定員50人

# これからの地域づくりのポイント

## 発想の大転換

—サービスづくりではなく  
地域づくりへ—



画一的なサービス整備から、  
多様な地域づくりへという  
発想の大転換が  
地域を元気にします

## 社会参加による 介護予防へ



社会参加による  
介護予防へと  
考え方を転換しましょう

## メンバーを お客さんにしない「協議体」づくりを

地域で暮らす  
多様な人びとが協議できる場です

## 社会資源は 開発より 発見



暮らしの中にある  
支え合いを見つけ、  
つないでいくことが重要です

## 生活支援コーディネーターは 後ろ盾があってこそ 生きる

みんなとつながる  
みんなをつなげる  
コーディネーターを目指しましょう

